

現広島FMP開発事業用地の新たな利活用に係る有識者検討会（第1回）

議事録（議事要旨）

項目	内容
1 日 時	①令和5年12月14日（木）10時～12時 ②令和5年12月15日（金）15時～17時 ③令和5年12月19日（火）10時～11時
2 場 所	①オンライン（Zoom） ②商工会議所8階 観光課 会議室 ③県庁本館102会議室
3 出 席 者	<b>【委員】</b> ・現広島FMP開発事業用地の利活用に係る事業提案募集（公募）における審査部会委員（3名） ・マーケティング、ファイナンス、観光分野等の専門家（4名） <b>【事業予定者】</b> 株式会社トムス（3名）
4 議 題	事業実施計画書案について
5 担当部署	商工労働局 観光課
6 議事内容	令和5年9月29日付で事業予定者から提出された事業実施計画案について、専門家から意見聴取を行う前段として、事業予定者による事業実施計画案の概要説明と、専門家から質疑を行うことを主たる目的とし、第1回検討会を開催した。  1 主な質疑応答（●委員 ○事業予定者）  [事業コンセプト] （●）モビリティの需要はどの程度あると考えているか。 （○）子どもがEVカートを一度体験すると何度も乗りたくなるような魅力的なコンテンツであること、EVカート場は北米（40か所）、ヨーロッパ（20か所）をはじめ、ドバイや上海といった観光地などにおいて世界的に普及しつつあることを踏まえると、モビリティをテーマとした施設のポテンシャルは高いと考える。  [事業の実現性・継続性] （●）開業後のコンテンツの質の担保はどのように行うのか。 （○）質の担保やコンテンツの企画を専門で行う部門を設置する予定であり、構成員企業以外からも知見を有する方に参画いただくことを想定している。 （●）収支見通しの妥当性を判断するため、ターゲット別の消費単価設定を知りたい。 （○）積算根拠となるバックデータは有しているので、次回の検討会で説明したい。  [賑わいの創出・周辺施設との親和性] （●）ビッグテラスはどういったものか。 （○）透過性と強度の高い膜素材。夜は、下からライトアップすることで、イルミネーションを楽しめる。 （●）200万人の集客に向けてどのような工夫をするのか。 （○）旅行会社と連携したツアーパッケージ化、公共交通機関や空港等と連携した取組などにより、200万人の集客を目指したい。 （●）近隣住民を取り込むための工夫は。 （○）無料エリアに、子どもを対象としたプレイパークや、物販・飲食含めたテナント、シーサイドウォーク（散歩エリア）など、近隣住民が気軽に楽しめる施設を配置するこ

とを想定している。また、近隣住民等を対象とした年間割引パスの設定を検討している。

- (●) 施設規模が縮小し、駐車場が大幅に増えているようだが、1200台もの駐車場は必要か。
- (○) 大規模イベント開催時にはこれ以上の臨時駐車場の確保が必要となるが、来場目標数に対する駐車場数として妥当と考えている。

[環境景観への配慮]

- (●) アスファルトが占める面積が大きいが、環境面へはどのように配慮しているか。
- (○) 可能な限り緑化を取り入れる。また、景観を考慮し、白を基調とした建物やウッドデッキを設置予定である。

※上記の他、別紙のとおり、書面による事前の質疑応答があった。

## 2 委員意見

- ・コンセプトや事業の内容はおもしろいし、事業予定者のオーナーシップも感じられた。
- ・200万人を集客できるのか不安はあるが、これからの時代に求められるテーマパークであると感じた。
- ・リピーターを確保する上で、キラーコンテンツをいかに取りそろえられるかが重要。

## 現広島FMP開発事業用地の新たな利活用に係る有識者検討会（第1回）

## 書面による事前の質疑応答

項目	委員からの意見	事業予定者回答
事業コンセプト	本事業をこの地で行わなければならない理由は。	広島は日本の縮図とも言われ、多様な地理的特徴を有していること、広島市は国際平和文化都市であることなどから、この地がモビリティの新たな価値を創造し、世界へ発信する場所として相応しいと考えている。また、広島は世界遺産が2か所ある有数の観光地であるにも関わらず短期滞在型の観光地となっているが、本事業において長期滞在が見込める体験型テーマパークを開設することにより、既存の観光資源との相乗効果が見込めるものと考えている。
	イベントに比重が偏ると、モビリティというコンセプトの訴求力に影響があるように思うが、そのあたりの考えは。	モビリティと親和性の高いコンテンツ（車、音楽、イルミネーション、ドローンショーなど）のイベントを行うことで、モビリティの魅力が一層高まるものと考えている。
事業の実現性 継続性	30年間という長期かつ有期の事業であるが、事業期間中、事業運営についての意欲を継続させるための工夫は。	地元企業等をはじめ、様々な企業との連携・協力体制を構築しながら、何度も訪れたいと思えるようコンテンツの入れ替えや定例のイベントの開催などにより、事業意欲を持続させたい。
	収支計画はノーマルシナリオか、ワーストシナリオか。	保守的なノーマルシナリオ。並行してワーストシナリオの検証も行っている。
	有料来場者、無料来場者のそれぞれの平均滞在時間は設定しているか。	平均滞在時間やカスタマージャーニーを設定した上で、収支計画に反映している。
賑わいの創出 周辺施設との 親和性	提案時において魅力的なコンテンツの一つであったフォーミュラカレッジ事業の縮小についてどう考えているか。	フォーミュラ体験はモビリティのコアファン層向けのコンテンツであることなどを踏まえ、フォーミュラカレッジ事業を当初提案時よりも縮小することとし、モビリティのコアファン以外の子どもや親子で楽しめるコンテンツ（ミニ四駆、ラジコン、ドローンの組立体験や走行体験）を充実させている。
	ビッグテラス1階の屋内EVカートの騒音が、2階エリアでリラックスできる空間を妨げることはないか。	EVカートは、駆動系から出る音が少ないことが特徴であるが、タイヤ音やアナウンスが気になることも考えられるため、BGMをかけるといった対応を考えている。